

環境生活部大気保全課

渡邊 優一

平成22年度入庁

化学



Q1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

大気保全課では大気汚染の防止等に関する業務を行っています。私は自動車公害対策班で、自動車排出ガスに関する法令・条例・計画に基づき、自動車由来の窒素酸化物及び粒子状物質の実態を把握し、削減する政策の進行管理を担当しています。

千葉県だけでなく、埼玉・東京・神奈川の首都圏が一丸となり、対策を行ってきた結果、大気環境が大幅に改善するなどの成果をあげており、大きな仕事の一端に携われることにやりがいを感じています。

Q2 千葉県を志望した理由を教えてください。

学生時代に町おこし等をしている人々の生き方に感銘を受け、私も地域の人と交友関係を持ちながら、地域に根差して生きていきたいと思っていました。

そこで、自分が学んできた専攻の専門性を生かしつつ、地域貢献する仕事がしたいと思い、出身地である千葉県の化学職を志望しました。

Q3 「化学職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

技術職である化学職といっても、仕事の幅は広く、必要となる知識は担当する業務により様々ですので、常に新しいことを学んでいく姿勢が大切です。また、それが仕事の楽しみにもなっています。

私はこれまで規制行政に携わることが多く、時には事業者や県民に厳しい対応を取らざるを得ないこともありますが、法令に基づき正しく規制していくことが、将来の人々の生活環境を守ることに繋がると考え、業務に取り組んでいます。

Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

私の化学職としての目標は、人の健康被害や環境汚染の未然防止について、的確に判断できる専門性を高めていくことです。

また、廃棄物処理及びリサイクル業は、鉱物資源等の循環を担う静脈産業として、今後より重要になってくると考えています。しかし、時として処理施設は地域の方々に敬遠される難しい一面もあります。循環型社会の実現に向けて、利用する人・働く人・地域の人すべての、その必要性が理解されるよう、行政職員として一翼を担いたいと考えています。

Q 5 受験生へ一言

私の大学の専攻は生物工学ですが、同じ化学職でも様々な経験を持つ方が働いています。ぜひご自身の経験にとらわれずチャレンジしてください。



異動経歴

H22年採用	北総県民センター
H25年	環境生活部廃棄物指導課
H28年	環境生活部水質保全課
R 2年	環境生活部大気保全課

